

「県立高等学校再編整備基本計画」に基づく再編整備の事例

平成 15 年 6 月 13 日
教育委員会会議資料

専門高校・専門学科再編整備第 1 次実施計画

県立高等学校再編整備基本計画（平成 14 年 3 月）に基づく県立高等学校における専門高校・専門学科の再編整備の「第 1 次実施計画」を、次のとおり定める。

今後、基本計画で定める平成 20 年度を目途に、順次、対象校の整備・充実を図る。

1 専門高校拠点校の指定

区 分	学 校 名
農 業	西条農業高等学校，庄原実業高等学校
工 業	広島工業高等学校，福山工業高等学校
商 業	広島商業高等学校，尾道商業高等学校

2 総合技術高校の設置

開校年度	平成 17 年度
設置場所	本郷工業高等学校校地
設置学科	6 学科 【情報技術系学科，電子機械系学科，環境系学科，情報ビジネス系学科，食文化系学科，福祉系学科】
学校規模	入学定員 240 名

3 募集停止

次の学校・学科について、平成 17 年度から生徒募集を停止する。

学 校 名	学 科 名
尾道工業高等学校	機械科，電気科，電子工業科，設備工業科，生物化学科
河内高等学校	商業科
	食物調理科，生活文化科
賀茂高等学校	生活科学科

4 その他

他の専門高校・専門学科の今後の在り方については、引き続き検討を進める。

専門高校における拠点校の役割等

役割

- 農業、工業、商業の各分野において、将来のスペシャリストを育成する。
- 農業、工業、商業の各分野において、専門教科における基礎・基本を徹底するとともに、より高度な知識・技術を身に付け、それらを生かした進学・就職のできる人材を育成する。
- 県内の小・中・高等学校における職業教育のセンター的な役割を担う。

目指す教育

●生涯にわたり学び続ける意欲をもったスペシャリストの育成

○産業の高度化に対応した、専門性の習得

- ☆企業の専門家招聘等による高度な専門教科の指導
- ☆大学等での単位認定も念頭においた高大連携
- ☆大学等との共同研究の推進

○高度な資格取得

- ☆将来のスペシャリストになるための基盤づくり
- ☆全国トップレベルの資格取得を目指す

○上級学校への進学

- ☆大学と高校の教員の連携
- ☆大学等進学を想定した教育内容の創造
- ☆指定校推薦枠の拡大

○県内企業への人材供給

- ☆県内の企業等へ専門性を備えた人材の供給

○県内の職業教育のセンター的役割

- ☆他の高等学校の生徒にも先端技術の体験の場を提供するとともに、授業公開を定例的に行い、他校も含めた教員の指導力を向上
- ☆小中学校の教員にも授業を公開したり、児童生徒の体験の場を提供することにより、義務教育段階でのキャリア教育の充実をサポート

教員の専門教科の指導力向上：先端技術等の研修の充実
(大学や企業との連携)

技術の進展等に対応できる施設・設備の充実

総合技術高校の概要

役割

- 複数の学科を設置することにより、社会や産業の変化に対応できる幅広い視野をもった人材を育成する。
- 地域の産業界等と連携することにより、確かな職業観・勤労観を育成するとともに、起業家精神をもつ人材を育成する。

目指す教育

○確かな職業観・勤労観の育成と起業家精神の涵養

- ☆「産業探求」「産業総合実習」(仮称)の開設
 - 産業全体の総合的理解と実践力の育成
- ☆総合選択制の導入
 - 主体的な進路選択を支援
- ☆長期にわたるインターンシップの実施
 - 職業観・勤労観の育成、学校における学習の意義を再認識
- ☆経営者・現場技術者の指導
 - 各産業分野の最先端の知識・技術の導入による学習への動機付け
- ☆ミックスホームルームの実施
 - 多様な感性・価値観の認識

○複数の分野の資格取得

- ☆複数の分野における資格取得を目指す → 様々な産業分野への対応力の育成

○地域への人材供給

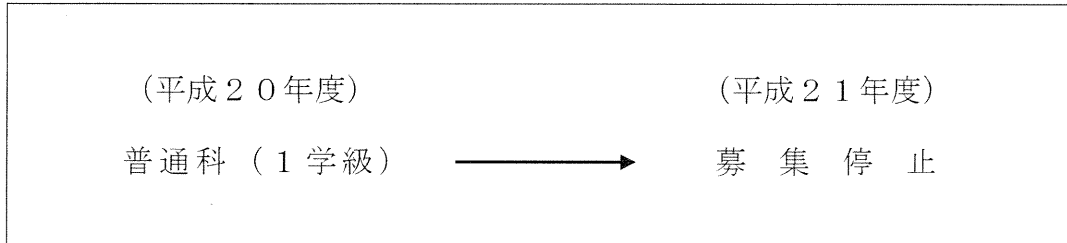
- ☆複数の分野において、地域の企業等の即戦力となる人材を育成する
- 〔 尾三地域重点産業→「環境」「情報」「福祉」、びんごエコタウン構想→環境関連産業、尾三地域に工業流通団地集中→電子、食品関連産業 〕

- 設置年度 平成17年度 [本郷工業高等学校校地へ設置]
- 設置学科 6学科 [情報技術系学科, 電子機械系学科, 環境系学科, 情報ビジネス系学科, 食文化系学科, 福祉系学科]
- 募集予定人員 240名
- * 学校名及び学科名については、学校の特色等を勘案し、15年度中に決定予定

高宮高等学校の生徒募集の停止について

1 要 旨

平成21年度から、高宮高等学校（全日制課程普通科）の生徒募集を停止する。



2 生徒募集を停止する理由

- (1) 高宮高等学校は、1学年1学級の生徒募集を行っているが、長年入学者数が定員に満たない状況が続いているとともに、地元中学校卒業者の同校への進学割合も低い。
この状況は、地元の中学校卒業予定者数の推移から、今後も改善する見込みがないと推測される。
- (2) このような状況を踏まえ、平成20年6月に策定した「県立高等学校再編整備基本計画（平成21年度～平成25年度）」に基づき、よりよい教育環境のもとで教育効果を高める観点から、適正な学校規模を確保するとともに、学校の配置の適正化を図るため、平成21年度から生徒募集を停止する。

※県立高等学校再編整備基本計画（平成20年6月）（抜粋）

今後は、1学年8学級以下を維持するとともに、1学年3学級以下の小規模校については、中山間地域と都市部とにおける近隣校までの距離や公共交通機関の利便性等の相違にも十分に配慮しながら、(3)の統廃合の考え方にに基づき、計画的に統廃合を推進する。

(3) 統廃合の考え方

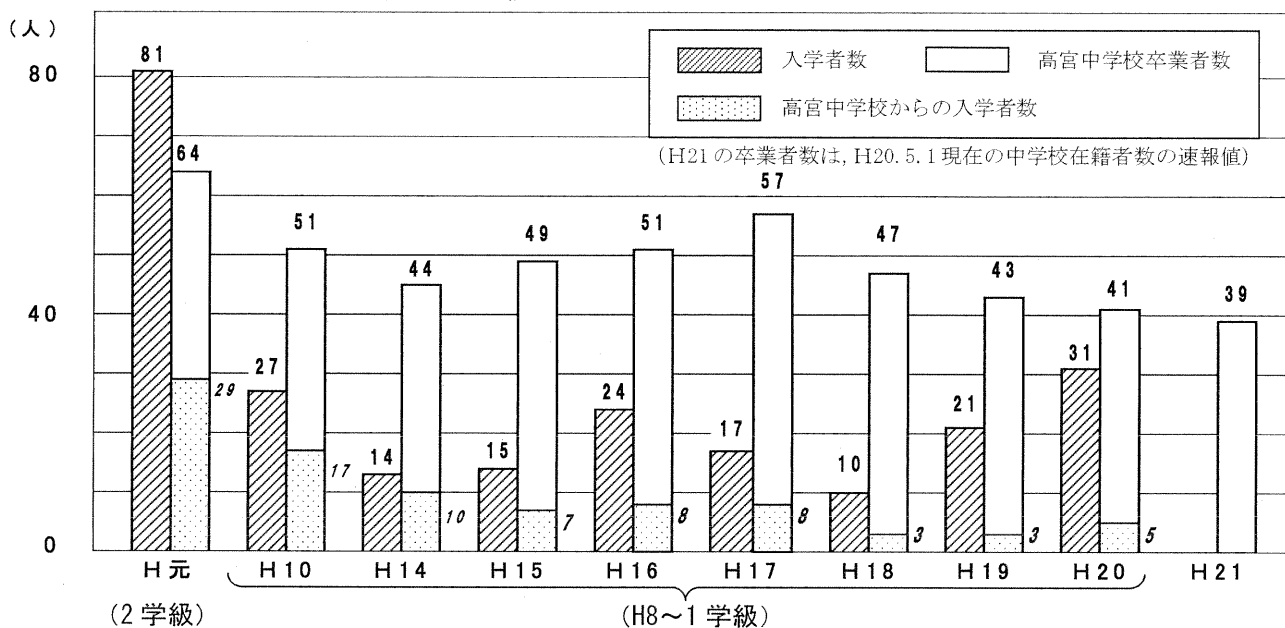
① 1学年1学級規模の学校

当該学校の在籍状況（入学率など）、地元中学校の進学状況（地元率など）等を勘案しつつ、統廃合を進める。

3 高宮高等学校の沿革

- 昭和 23 年 広島県吉田高等学校川根分校設置
広島県吉田農業高等学校船佐分校，来原分校設置
- 昭和 24 年 広島県吉田高等学校設置（吉田高等学校，吉田農業高等学校廃止）
川根分校，船佐分校，来原分校設置
- 昭和 37 年 広島県吉田高等学校高宮分校設置（分校の統合）
- 昭和 58 年 広島県立高宮高等学校設置（分校から本校となる）

4 高宮高等学校入学者数等の推移



※ 高宮中学校からの入学者数には過年度卒業生を含まない。

5 高宮中学校卒業生の進路状況

(単位: 人)

卒業年月	H16.3	H17.3	H18.3	H19.3	H20.3	
卒業生数	51	57	47	43	41	
吉田高等学校	8	17	13	17	11	
三次高等学校	7	13	11	7	7	
高宮高等学校	8	8	3	3	5	
向原高等学校	1	2	0	0	0	
その他	上記以外の公立 高等学校等	20	9	10	8	9
	私立高等学校・ 高等専門学校等	7	8	10	8	9

6 旧高宮町内中学校生徒数・小学校児童数

(単位: 人)

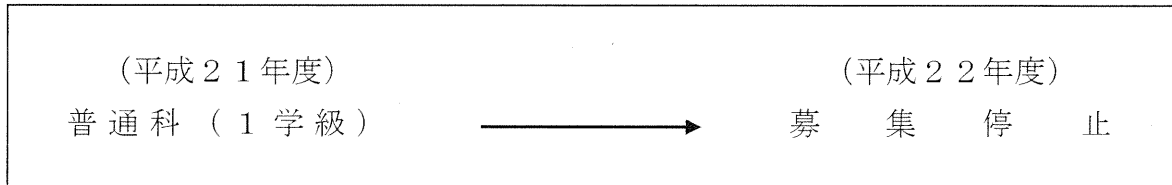
学年	H20.3	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
中卒見込年	卒業	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3
卒業生数	41	39	44	27	42	28	20	32	25	25

※ H20.5.1現在の高宮中学校生徒数及び川根，来原，船佐小学校児童数の速報値。

白木高等学校の生徒募集の停止について

1 要 旨

平成 22 年度から、白木高等学校（全日制課程普通科）の生徒募集を停止する。



2 生徒募集を停止する理由

(1) 白木高等学校は、1 学年 1 学級の生徒募集を行っているが、地元中学校卒業者の同校への進学者数は減少傾向にあり、また、その割合も低い状況である。

この状況は、地元の中学校卒業予定者数の推移から、今後も改善する見込みがないと推測される。

(2) 地元中学校から安芸高田市内や安佐北区内の近隣校まで、その距離、公共交通機関の状況等から、通学は十分可能である。

(3) このような状況を踏まえ、平成 20 年 6 月に策定した「県立高等学校再編整備基本計画（平成 21 年度～平成 25 年度）」に基づき、よりよい教育環境のもとで教育効果を高める観点から、適正な学校規模を確保するとともに、学校の配置の適正化を図るため、平成 22 年度から生徒募集を停止する。

※ 「県立高等学校再編整備基本計画（平成 21 年度～平成 25 年度）」（抜粋）

2 適正規模化の推進

(1) (略)

(2) 適正規模化の推進

(略)

今後は、(略)、1 学年 3 学級以下の小規模校については、中山間地域と都市部とにおける近隣校までの距離や公共交通機関の利便性等の相違にも十分に配慮しながら、(3) の統廃合の考え方に基づき、計画的に統廃合を推進する。

(略)

(3) 統廃合の考え方

(略)

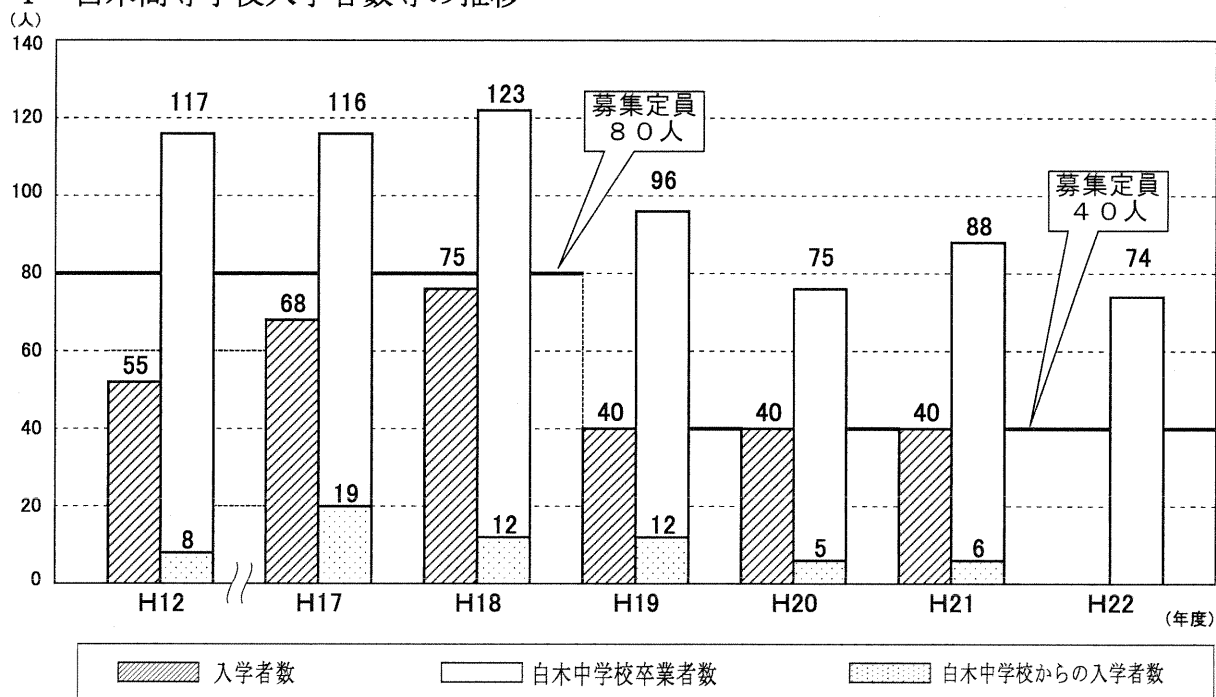
① 1 学年 1 学級規模の学校

当該学校の在籍状況（入学率など）、地元中学校の進学状況（地元率など）等を勘案しつつ、統廃合を進める。

3 白木高等学校の沿革

- 昭和 2年 広島県高田中学院設置
- 昭和23年 広島県高田高等学校設置
- 昭和24年 広島県高南高等学校設置
- 昭和29年 広島県へ移管
- 昭和36年 広島県白木高等学校と改称
- 平成 9年 商業科と家政科の生徒募集を停止し、普通科を設置

4 白木高等学校入学者数等の推移



※ 平成9年度から平成18年度まで1学年2学級規模
 ※ 平成22年度の卒業生数は見込み

5 白木中学校卒業生の進路状況

卒業年月		H17.3	H18.3	H19.3	H20.3	H21.3
広島市 安佐北区	可部高等学校	10	5	2	5	9
	白木高等学校	19	12	12	5	6
	高陽高等学校	10	9	6	9	9
	高陽東高等学校	8	8	2	4	7
	小計	47	34	22	23	31
安芸高田市	向原高等学校	6	16	9	7	11
上記以外の公立高等学校(全日制)		35	42	41	25	26
その他		28	31	24	20	20
計		116	123	96	75	88

6 白木中学校生徒数・小学校(白木町内4校)児童数

(単位: 人)

学年 中卒見込年	H21.3 卒業	中3 H22.3	中2 H23.3	中1 H24.3	小6 H25.3	小5 H26.3	小4 H27.3	小3 H28.3	小2 H29.3	小1 H30.3
卒業生数	88	74	73	57	76	79	67	58	69	52